

# VISION

The Brotherhood of St. Andrew Japan, Inc.

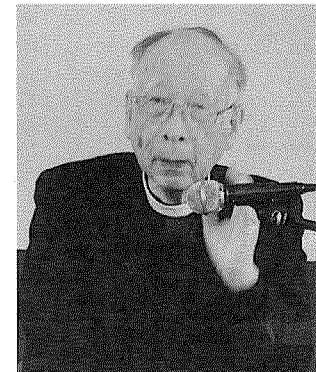
『幻かなれば民は墮落する』 箴言29章18節

一般社団法人日本聖徒アンデレ同胞会  
〒105-0011 東京都港区芝公園3-6-18  
日本聖公会東京教区会館内  
3-6-18 Shibakoen, Minato-ku, Tokyo  
TEL 03-3436-4325 FAX 03-3432-1696  
<http://www.brotherhood-st-andrew-japan.org>  
mail.bsa@nskk.org

BSA 会報 《季刊発行》

編集発行人 松田正人

印刷所 (株)インパルスコーポレーション



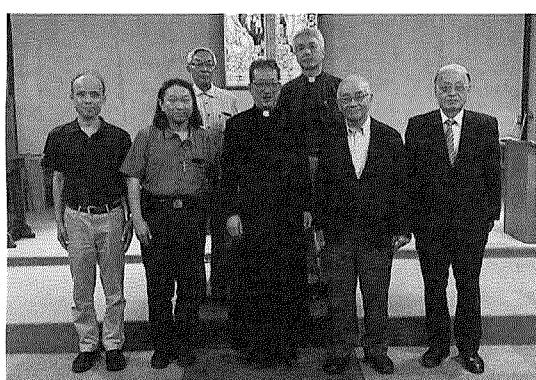
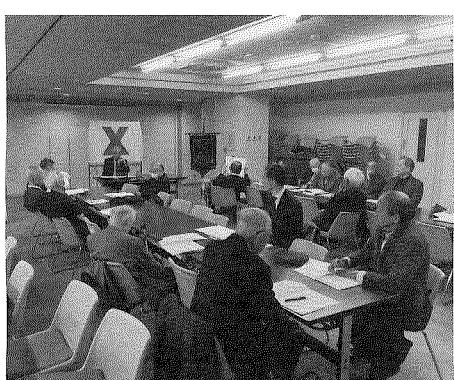
入会は1940年

司祭  
今井  
烝治  
(東京教区退職司祭)

そしてジョンをイエスのもとに連れて行つた」とあります。聖徒アンデレ同胞会は、この聖徒アンデレにならつて「一人が二人生を」を標語に、隣人となつた、その隣人を主キリストのもとに導く運動体であると理解しています。私がこの聖徒アンデ雷同胞会に入会したのは1940年、立教中学校1年生の時のことでした。入会宣誓式の行われた立教学院チャペルの側壁には戦死した学友の名前の脇に「友のために命を捨つる、これより大きいなる愛は無し」と聖語が記されていました。

そしてシモンをイエスのもとに連れて行つた」とあります。聖徒アンデレ同胞会は、この聖徒アンデレにならつて「一人が一人を」を標語に、隣人となつた、その隣人を主キリストのもとに導く運動体であると理解しています。私がこの聖徒アンデレ同胞会に入会したのは1940年、立教中学校1年生の時のことでした。入会宣誓式の行われた立教学院チャペルの側壁には戦死した学友の名前の脇に「友のため命を捨つる、これより大いなる愛は無し」と聖語が記してあります。

私たちには主イエス・キリストの十字架の愛に生かされて平和を求める者とされています。それは、真に平和を実現しようととしているのならば、十字架の愛に生きなければならぬということです。聖徒アンデレ同胞会の目標が「一人が一人を」というのであれば、男女の別なく、この運動体のメンバーになると思つています。



外の礼拝の後、武藤謙一教団  
主教ともご一緒に記念写真を。  
(10月10、11日)、福岡支部に  
は現支部長のほかに、前支部長  
も元支部長も健在で、後継体制  
がとられていることが素晴らしい  
いとおもいました。

伺い、本部の考えていること、支部に期待していること、一方、本部への要望などを伺いたいと考えていました。

本部メンバー、支部メンバーともに主日礼拝中心の生活の中で日程調整には苦労しますが福岡支部を訪問し、柴本孝夫チャーチレンと酒井支部長ほかのメンバーと一緒に懇談することができまー

# 公 示

創立の恩人 ポールラッシュ  
学校法人メイ・ウシヤマ学園

**ハリウッド大学院大学**  
**ハリウッド美容専門学校**

〒106-8541 東京都港区六本木6-4-1 六本木ヒルズ ハリウッドプラザ

☎ 0120-083394 [www.hollywood.ac.jp](http://www.hollywood.ac.jp)

また、横浜支部の再宣誓式に同席し、しばしの交流を通して日常を垣間見ることもできました（12月7日）。



さらに同年、第1回全国総会（京都第三高校青年会館）において「日本聖安得烈同胞会」が生まれ、同会連合会憲法（案）が議定された後、元田作之進師が会長に選出された。

学教授に就任する。

野田 徹（副会長）

## BSA研修旅行

清里は紅葉が始まり、雲海の  
向こうには富士山の姿を眺め、  
そして美味な食事。今回参加の  
皆さまは、大変満足された旅で  
は、と感じました。キープ協会  
の皆さま、参加者の皆さま、あ

のため米国から来日したチャーチルス・エバンス氏の後任司祭)により初期の「同胞会」が組織された後、同会東京部の第1回例会が聖愛教会(麹町区上二番町1番地・現在の千代田区一番

会館の再建委員としてポール・ラッシュュがシアトルから来日、1926年にはビンスティッド長老の紹介によりジョン・マキム監督（立教学院理事長）、チャーリー・ルズ・ライフスナイダー（立教のモットーが日本で実践され始

リストの教えを広める、などであつた。まさにこの年（1927年）を日本BSA100年の歴史のスタートとして、いよいよBSA会員による「祈祷と奉仕」

た。午前中から待機していた編集委員たちが運び込まれた包みを取り囲んだ。

2日目の夕食後は至福の時、集委員たちが運び込まれた包みキープ協会が主催する「二つの楽器の対話と調和」和波孝禧&土屋美寧子のヴァイオリンとピアノのコンサートを楽しみまし

た。午前中から待機していた編集委員たちが運び込まれた包みを取り囲んだ。

内容の確認が一段落したところで、松田会長、木島副会長をはじめ編集委員たちが叢書の包

相模原市の林間バルナバ支部では片山謙チャップレンをお訪ねし、婦人会とBSAが柱となつて奉仕会活動の軸となつてゐることなど、ヒントをいただきました。(12月19日)

信徒叢書の読書会も会員が音頭取りとなつて、教会員全體に呼びかけることにこそ意味があつたとも伺いました。それぞれの交流を通して支部同士の交流の重要性についても学ぶことができました。今年は200m利用の支部長懇談も計画したいと考えています。

ウッド氏はさらに地区同胞会支部（約25支部）を精力的に訪問指導すると共に、新支部結成に努め、大阪聖約翰教会、福井聖三一講義所などに新支部が生まれた。

ところが築地明石町のウッド氏居宅が火災で焼失し（1904年）、一時転居後、米国聖公会伝道教師としての契約期限1年を残してウッド氏は元えた日本聖安得烈同胞会は、なぜかこれ以後の記録が残っていない。

式のもとに結成なる。  
結成時の日本支部メンバー  
は、【顧問】ライフスナイダー  
（立教総長）、杉浦真二郎（立大  
学長）【会長】根岸由太郎教授  
【総務書記】カール・ブランス  
タッド教授【共同総書記】ポー  
ル・ラッシュ教授【共同書記】  
宅間聖智など。立教大学5号館  
に事務所を置き、この時の入会  
者は16名、活動として、①自分  
で出来る毎日の祈祷の規則を作  
り、今日の反省と明日の計画を  
付け加える、②自分で出来る奉  
仕のプログラムを考える、③キ

泊三日の旅をしてきました。ポール・ラッシュ記念館に於いて、長編アニメーション映画「夢かける高原」ポールさんの「人間愛」に貢かれた生涯を感動的に描いた作品を視聴し、秦英水子館長の導きにより館内の資料説明を丁寧に受けることが出来ました。また、ポールさんが晩年過ごした邸宅に伺い案内され、そこでは、日本をこよなく愛されたポールさんのお人柄を垣間見ることが出来ました。

清泉寮創立当時（1938年）  
清泉寮の生活を支えた井戸が掘

A black and white photograph showing three elderly men standing side-by-side. The man on the left is wearing a light-colored sweater over a collared shirt. The man in the center is wearing a dark jacket over a patterned shirt. The man on the right is wearing a dark jacket over a light-colored shirt. Each man is holding a small glass, possibly containing a liquid, and they appear to be smiling or laughing. The background is slightly blurred, suggesting an indoor setting like a restaurant or a social gathering.



BSA100周年に向けて

この20数年後（1927年）、

## 「日本聖徒アンデレ同胞会の足跡」70年誌抄録(2)

結成するに至るまで、同胞会は記録上空白の時代となる。

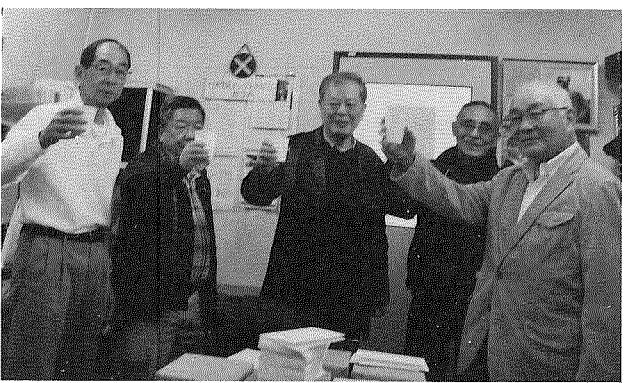
[日本BSA誕生前史・その2]

1925年、日本Y.M.C.A 日本BSA誕生

B S A 信徒叢書

『福音書を読み解くキーワード』

に、洗礼や堅信、クリスマスや復活祭、卒業・入学、誕生日、





# 清里高原だより 清泉寮一一ユース

## BSA研修旅行参加者が語る清泉寮の魅力

### 清泉寮を舞台に研修旅行開催

2024年BSA研修旅行は、「ポール・ラッシュ博士の足跡を探る旅」をテーマに、10月24日～26日の2泊3日の日程で、清泉寮を舞台に開催され、12名の会員のご参加をいただきました。

参加者は、初めて清泉寮を訪れた方、何年ぶりだろうかと懐かしむ方から、過去に何度もお越しになり、職員以上に詳しい方まで、参加の動機も様々でした。しかし、参加者に共通していたのは、清泉寮が好きで、知的好奇心の旺盛な方ばかりで、お一人お一人が、積極的にプログラムに参加され、清泉寮の雰囲気やお部屋やお食事などを五感をフル稼働しながら体感してくださいました。その中で得られた新たな気づきや発見をお持ち帰りいただけたご様子が、お迎えした清泉寮のスタッフとして何よりも嬉しく、ありがたく感じられた3日間でした。

今回参加されたお二人から、研修旅行や清泉寮の感想を語つさせていただきましたので、紹介させていただきます。

### 「清泉寮を満喫した3日間」

アブラハム 松田 正人

### 研修旅行に初めて参加して

横浜支部 ペテロ 高橋 紀道

### 研修旅行に初めて参加して

BSAの研修旅行に初めて参

加しました。

参加は、清泉寮を久しぶりに訪れたいとの思いと、清泉寮で和波孝喜さんのヴァイオリンリフト・クリームを食べによつた時は私はかつて旅の途中でソーフト・クリームを食べて、今回が3回目の清泉寮でした。「ポール・ラッシュの

音楽に淀みもなく、感動しました。来年もこのような企画があること、是非参加したいと思います。

朝夕は多少冷え込みましたが良い天気でした。清里聖アンデレ教会の早朝の礼拝に出席し、「十字架の道行き」を通り清泉寮まことに向かっているポール・ラッシュ博士の胸像の眼も満足げでした)、どれを食べてもはずれのないデリシャスなビュッフェ(漬物のきれいな盛り付けにも魅了され、思わず写真を撮りました)、充実した博物展示と、館長の行き届いた解説でポール・ラッシュの想いやご苦労がよくわかりました。彼の精力的な働きと訴えによって、多くの人を巻き込み、整えてきたのだなあと感慨もひとしおです。時代は変わろうとも、人々の心に訴えます。七つ挙げさせていただきます。

BSA会員の皆様に今あらためてお伝えしたい清泉寮の魅力

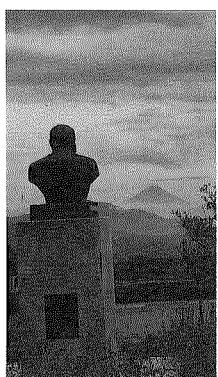
BSA会員の皆様にお伝えしたい清泉寮の魅力を手前味噌にはなりますが、教えていただいた、BSA会員の皆様にお伝えしたい清泉寮の魅力を手前味噌にはなりますが、七つ挙げさせていただきます。

一人でも多くの会員の皆様、ご関係の皆様のお越しと、そこで働くことになつたスタッフが、兄弟姉妹のような関係のBSAの皆様に精一杯のおもてなしとはなかつたとがつかり。しをしたいという気持ち。

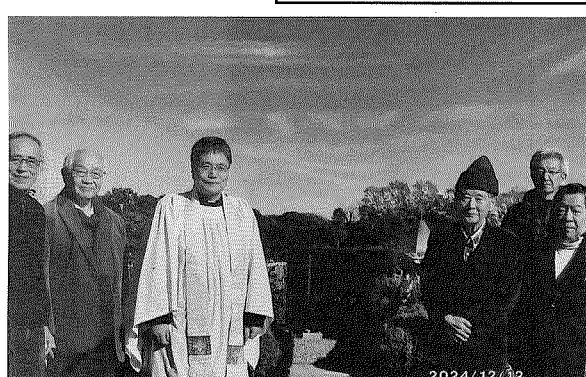
旬消、全て手作りにこだわった豪華ではないけど健康に配慮した美味しい食事。ログランやイベント。(5) キープの専門スタッフや様々な支援者のご協力によつて適宜開催される清泉寮らしいプログラムやイベント。

正月にツリーと門松、並ぶ宿郵便代 かさむ年賀は今年まで持ち寄りの酒肴たのしき忘年会

吉松英美野田徹



ポール・ラッシュ没後45年  
記念礼拝



老妻をデイサービスに送り出し 東の間寛ぎ足の爪切る  
イヴ礼拝先唱者われ務めしが 八十六歳息も絶え絶え  
年明けの聖餐式は人影まばら 平和の挨拶「今年もよろしく」

世の中は朱に交われば赤くなる 酒に交わりて顔赤くなる  
キリスト者 主に交われば何となる 赤の他人の隣人となる  
主にありて 赤の他人と交わりて 灯りとなりてこの世に生きる  
市内の清里聖アンデレ教会でも  
ボール・ラッシュ逝去記念礼拝  
が小林祐二司祭の司式で行わ  
れ、キープ協会の元田充隆理事  
長、同職員および聖アンデレ教  
会信徒など合わせて27名が参列  
した。同教会にはボール・ラッ  
シユの遺骨が安置されている。  
萩谷長生

正月にツリーと門松、並ぶ宿  
郵便代 かさむ年賀は今年まで  
持ち寄りの酒肴たのしき忘年会  
吉松英美野田徹

## VISION 文芸

野田徹

### 編集後記

・年が改まり、世界中の平和を願わないわけにはいられない心境です。私事ですが、暮れの21日に自宅の外階段で転倒し、おでこを8針も縫いました。これで体中に4つ目の傷跡が残りました。平和を作り出すにはいささかへなちょこですでの、せめて祈りに力をいれることにします。(M)

正月にツリーと門松、並ぶ宿郵便代 かさむ年賀は今年まで持ち寄りの酒肴たのしき忘年会  
吉松英美野田徹

正月にツリーと門松、並ぶ宿郵便代 かさむ年賀は今年まで持ち寄りの酒肴たのしき忘年会  
吉松英美野田徹